

ワークウェルコミュニケーターの概要ご説明

2009年8月21日
株式会社沖ワークウェル

目次

1. 沖ワークウェルの紹介
2. 在宅勤務の運営方法
3. 開発の背景(重度障害者の在宅勤務普及の課題)
4. ワークウェルコミュニケーターの紹介
5. ワークウェルコミュニケーターの利用場面

1. 沖ワークウェルの紹介

沖ワークウェルは、沖電気工業の特例子会社で障害者雇用を重点的におこなう会社です。

(1) 主な事業内容

- ・ホームページ制作
- ・ポスターデザイン
- ・重度障害者向けの遠隔IT教育
- ・名刺作成

(2) 社員構成

- ・全社員数50名のうち障害者40名
- ・障害者40名のうち重度障害の在宅勤務者31名

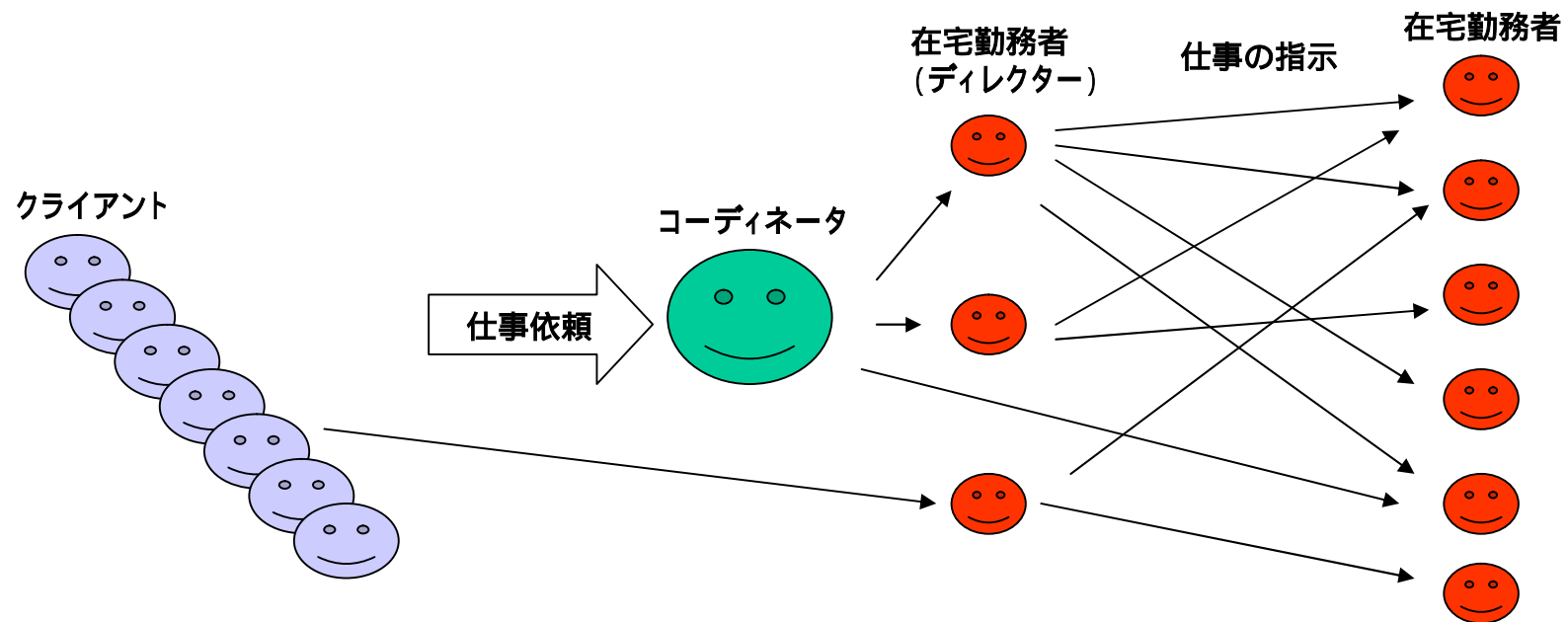
(3) 特徴

- ・通勤の困難な重度障害者31名が、自宅でパソコンとネットワークを活用してホームページ制作やデザインなどの業務をおこなっている。
- ・業務時間帯は自由でなく、日中の6時間または7時間に設定。
- ・業務時間帯は、メールや電話を使って、本社メンバーや在宅勤務者間で頻繁に連絡を取り合って仕事を進めている。
- ・他社の障害者在宅雇用の導入サポートもおこなっている。

1. 沖ワークウェルの紹介(懇親会集合写真)



2. 在宅勤務の運営方法



3. 開発の背景(重度障害者の在宅勤務普及の課題)

(1) 在宅勤務はコミュニケーションが難しい

- ・仕事は、コーディネータや在宅勤務者による複数のプロジェクトでおこない、メンバー間の木目細かな音声でのコミュニケーションが重要
- ・ただし電話は1対1なので、会社内のようにプロジェクト内のミーティングができず、メンバーが多くなるとコミュニケーション効率が悪い
- ・多地点音声通話システムのスカイプが有効ではあるが、会社内のように複数プロジェクトが臨機応変にミーティングすることはできない

(2) 在宅勤務は労務管理が難しい

- ・会社から見えないところに居るので、「仕事をいつ開始していつ終了したのかが分かりにくい」「本当に仕事をしているのかどうか把握しにくい」という心配があり、障害者の在宅雇用が進まない

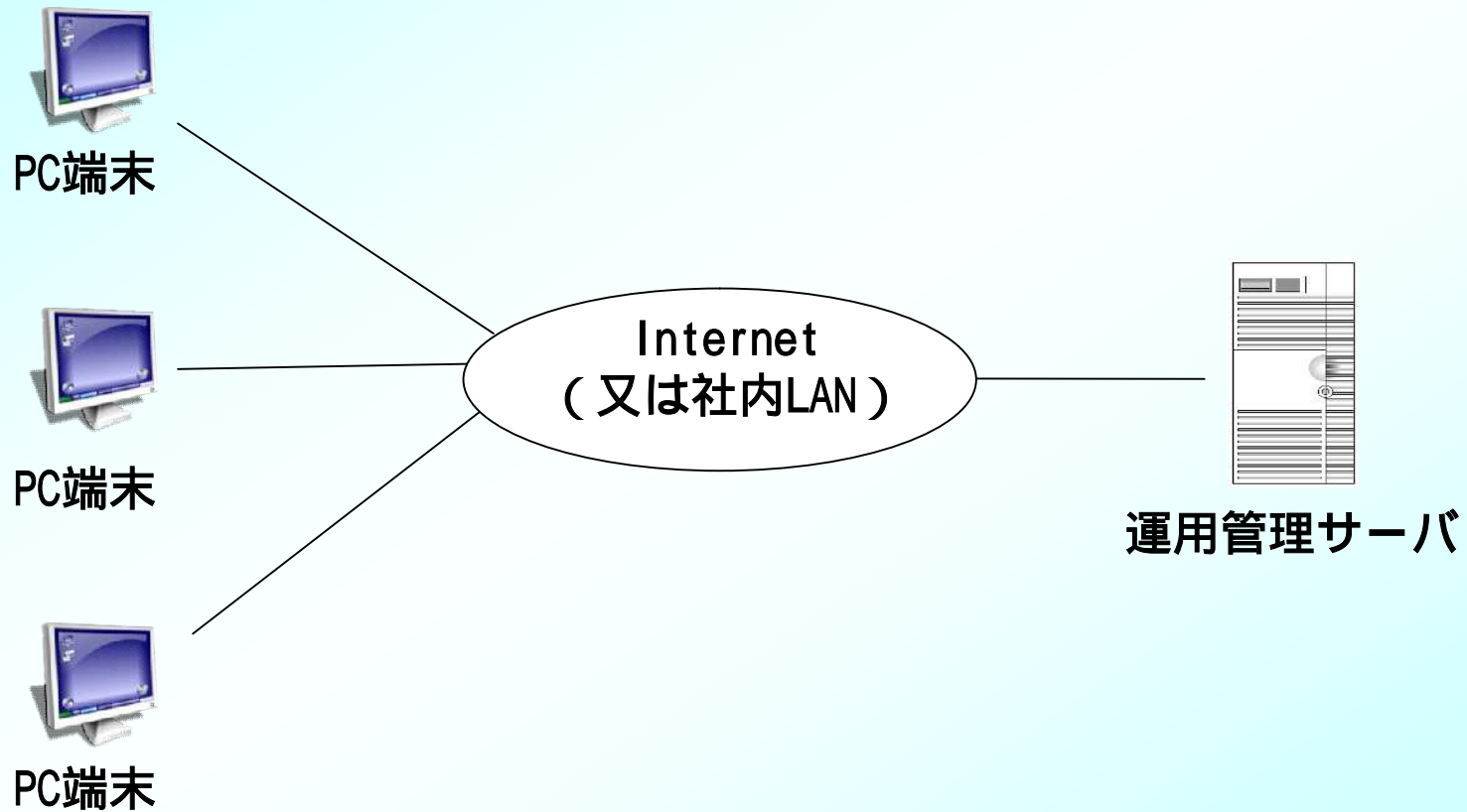
(3) 重度障害者の遠隔教育が難しい

- ・重度障害者が就業するためにIT教育を受ける場合、機関に通うこと自体が困難。教育を受ける機会に恵まれず、就業できない重度障害者は多い

➡ 重度障害者の在宅勤務や遠隔教育の環境が構築できて、障害者が使いやすい、常時接続型多地点コミュニケーションシステム「ワークウェルコミュニケータ」を開発する。

4. ワークウェルコミュニケータの紹介

(1) システム構成



4. ワークウェルコミュニケータの紹介

(2) 開発方針

市販のTV会議システムは臨場感があるが、障害者支援団体などでの導入は難しい。多地点音声通話のスカイプは無料で音声品質も良いが、複数プロジェクトが臨機応変にミーティングすることができない。開発方針は次の通り。

障害者が使いやすいユーザインタフェース

大学の福祉機器研究者などにも研究委託する

長時間の使用を想定しているので、ストレスのない音声品質を確保する
社内外の在宅勤務障害者が実際の業務で使用して実験する

在宅勤務や遠隔教育に必要な機能を充実させる

会社に居るように、プロジェクト毎のコミュニケーションをしやすくする
スクーリングや講義などが遠隔でできるようにする
在宅勤務者のプレゼンス表示、勤務管理ができるようにする

ユーザ導入を容易にすること

価格を抑えるため可能な限りオープンソースを活用する
システムをシンプルにするため、優先度が低い映像機能は省く

4. ワークウェルコミュニケータの紹介

(3) ユーザの画面

| ID | 名前 | 部屋 |
|--------|------------|-----|
| 000002 | 津田 貴 | 6 |
| 000005 | ... | 共用 |
| 000006 | ... | 共用 |
| 000007 | ... | 3 |
| 000010 | ... | 3 |
| 000013 | ... | テスト |
| 000014 | ... | 共用 |
| 000016 | ... | 6 |
| 000017 | ... | 共用 |
| 000019 | ... | 共用 |
| 000020 | ... | 共用 |
| 000021 | ... | 6 |
| 000022 | ... | 共用 |
| 000028 | ... | 共用 |
| 000029 | ... | 6 |
| 000035 | ... | 共用 |
| 000037 | ... | 共用 |
| 000042 | ... | 1 |
| 000043 | ... | 3 |
| 000045 | ... | 1 |
| 000048 | ... | 共用 |
| 000051 | ... | 共用 |
| 100001 | OWW 事務所... | 共用 |
| 100002 | OWW 事務所... | 共用 |

7つ(共用 + 6つ)のバーチャルな会議室があり、複数のプロジェクトが同時に打合せできる。

「共用」が居室のイメージ。

接続しているメンバー全員の名前が表示されており、現在どの部屋にいるかのプレゼンス情報が表示される。

会議中のメンバーに伝言するなどのメッセージ送信が可能。

操作ボタンがテンキーに対応しているので、マウス操作が困難な人も使いやすい。視覚障害者も操作しやすいので打合せに参加できる。

耳は聞こえるが声が出ない人には、標準語彙の自動出力機能があり、打合せに参加できる。(音声認識機能は無し)

4. ワークウェルコミュニケーターの紹介

(4) 勤務管理表

重度障害者の在宅勤務は、「仕事をいつ開始していつ終了したのかが分かりにくい」「本当に仕事をしているのかどうか把握しにくい」と言われ、なかなか導入が進まない。

システムへの接続ログを勤務管理表として出力し労務管理に使用できる。

勤務管理表

対象者: 沖太郎 | 対象年月: 2009年1月

表示

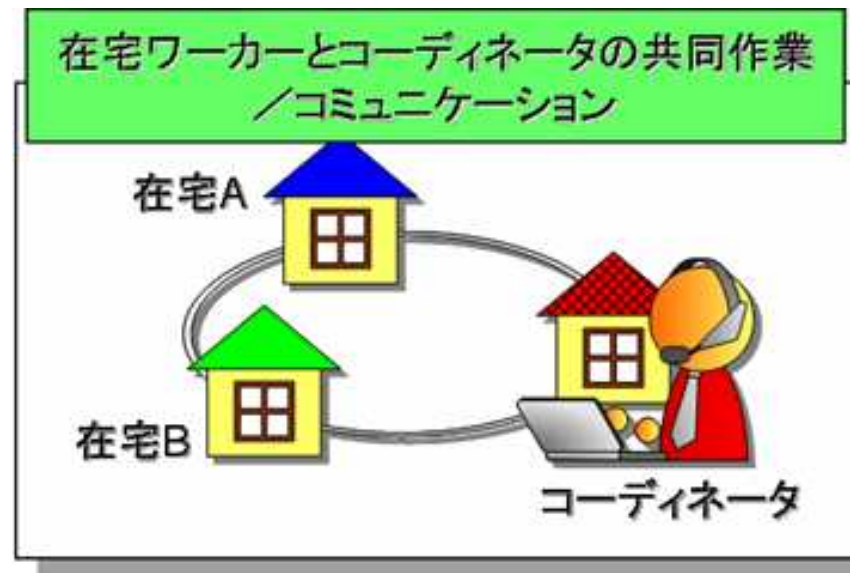
沖太郎 (2009年1月1日 ~ 2009年1月31日)

| 日付 | 開始時刻 | 終了時刻 | 全接続時間 | 会議時間 |
|--------|----------|----------|-----------|----------|
| 1日(木) | 13:37:00 | 20:31:06 | 6:51:19 | |
| 2日(金) | 13:17:54 | 13:39:37 | 0:21:34 | 0:00:04 |
| 3日(土) | | | | |
| 4日(日) | | | | |
| 5日(月) | 10:17:08 | 17:33:25 | 7:16:00 | 0:41:50 |
| 6日(火) | 16:01:57 | 17:41:28 | 1:39:25 | 0:09:07 |
| 7日(水) | 9:14:58 | 17:39:30 | 5:02:37 | 0:58:25 |
| 8日(木) | 8:54:20 | 19:07:06 | 10:12:33 | 0:23:32 |
| 9日(金) | 8:32:50 | 18:45:54 | 7:28:26 | 1:22:20 |
| 10日(土) | | | | |
| 11日(日) | | | | |
| 12日(月) | | | | |
| 13日(火) | 8:30:17 | 14:49:00 | 6:18:28 | 0:16:56 |
| 14日(水) | 8:52:33 | 17:37:27 | 8:44:21 | 0:29:14 |
| 15日(木) | 8:38:55 | 12:54:40 | 4:14:36 | 0:02:28 |
| 16日(金) | 8:36:49 | 17:38:18 | 9:00:57 | 2:16:55 |
| 17日(土) | | | | |
| 18日(日) | | | | |
| 19日(月) | 8:30:01 | 17:52:34 | 9:06:19 | 0:19:31 |
| 20日(火) | 8:29:23 | 16:21:31 | 6:13:55 | 0:29:34 |
| 21日(水) | 9:29:58 | 18:29:31 | 8:59:13 | 0:39:27 |
| 22日(木) | 8:38:59 | 13:40:38 | 5:01:24 | 0:49:06 |
| 23日(金) | 12:33:38 | 18:04:43 | 4:11:16 | 1:18:47 |
| 24日(土) | 15:49:32 | 17:01:13 | 1:01:07 | |
| 25日(日) | | | | |
| 26日(月) | 9:31:47 | 17:50:07 | 8:17:54 | 0:30:34 |
| 27日(火) | 14:36:13 | 18:28:40 | 3:52:25 | 0:00:39 |
| 28日(水) | 9:08:10 | 18:14:48 | 9:06:18 | 0:43:39 |
| 29日(木) | 8:27:41 | 17:41:53 | 9:13:40 | 0:47:01 |
| 30日(金) | 8:29:16 | 18:05:07 | 7:36:40 | 2:17:41 |
| 31日(土) | 15:34:47 | 15:44:45 | 0:09:56 | 0:09:16 |
| | | | 140:00:25 | 14:46:08 |

Copyright (C) Old WorkWel Co., Ltd. All rights reserved.

5. ワークウェルコミュニケータの利用場面(その1)

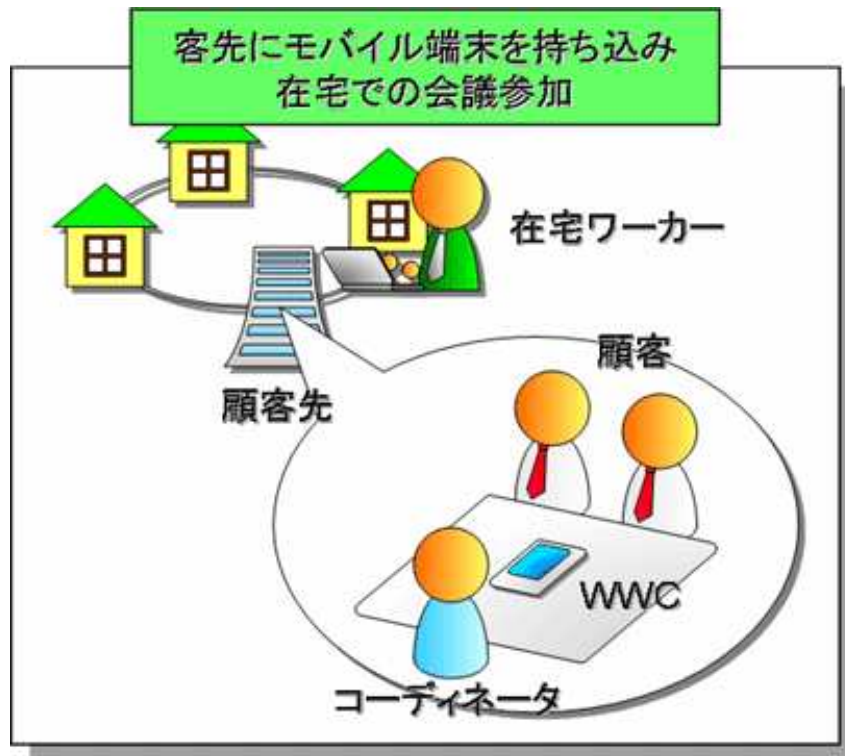
(1) 在宅勤務者と事務所社員との通常のコミュニケーション



- ・業務時間内は常時接続するので、他メンバーの声も聞こえて臨場感があり、OJTなどの効果がある。通常は共用部屋で待機し、必要に応じてメンバー間で声を掛け合って会議室に移って打合せをする。
- ・弊社で実験運用しているが、飛躍的にコミュニケーション効率が向上した。
- ・システムへの接続時間帯のログ情報を表示することで、労務管理がしやすくなる。

5. ワークウェルコミュニケータの利用場面(その2)

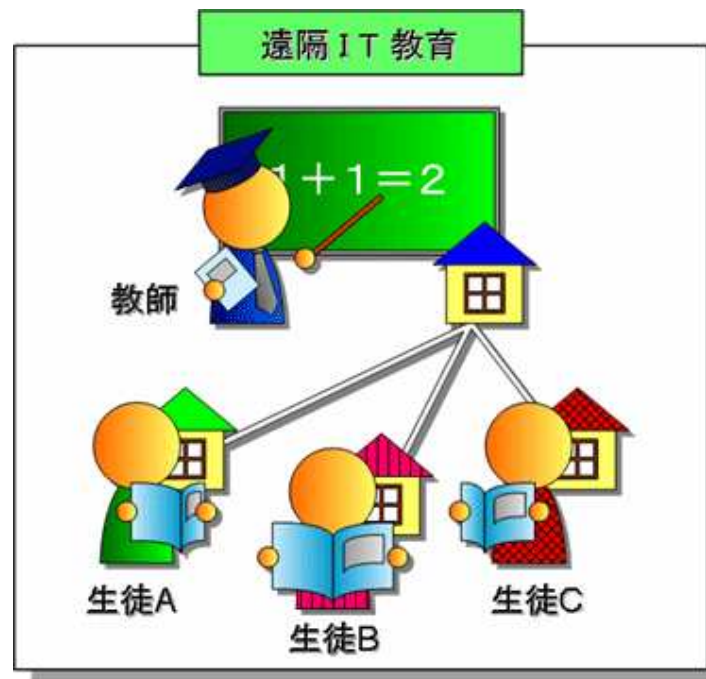
(2) 在宅勤務者のユーザ打合せ参加



- ・在宅勤務者は移動が困難で、ユーザ打合せになかなか参加できない。通常はコーディネータがユーザと打合せした後、メールや電話で打合せ内容を在宅勤務者に連絡するが、ノートPCと無線インターネットを持ち込むことにより、在宅勤務者も自宅から直接打合せに参加できる。
- ・ノートパソコンと一緒にWebカメラを持ち込み、打合せをライブ中継することにより臨場感を増す。

5. ワークウェルコミュニケーターの利用場面(その3)

(3) 遠隔授業で自宅から学校の授業に参加



- ・特別支援学校などでは、通学が困難な生徒に訪問授業をおこなっている。離れていても、友達と一緒に先生に質問したり喜んだりして授業を受けられる。
- ・OKIワークウェルの在宅勤務者が、重度障害者に在宅Web講習をおこなうことがある。受講者や講師が居住地、体調、あるいは天候の関係でスクーリングの場所に来られない場合もスクーリングに参加することができる。 13